

教科・種目名 技術・家庭(技術分野)

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫 別表1	<p>ガイダンス的内容に関する資料のページでは、技術における課題解決に必要な考え方について整理されている。</p> <p>見方・考え方について、具体的な例を示しながら、制約条件内の最適化について示している。導入とまとめの箇所整理し理解を深めるようにされている。</p> <p>職業についての理解は24項目、伝統の技術については2項目示している。</p> <p>3年間の学習内容が具体例を用いて体系的につながるよう整理されている。統合的な問題解決について具体例を挙げながら記載がある。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表2	<p>基礎的・基本的な作業は、内容ごとに「テックラボ」「技術のとびら」「基本操作」としてページごとに囲っており、調査については「調べてみよう」や「生活に生かそう」で示し、ガイダンスと4つの内容で扱っている。</p> <p>最初に実習の安全について2ページを使って説明後、「安全」印(21箇所)を付けて生徒への喚起を促している</p>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表3	<p>課題を解決するような教材の内容として、50項目が紹介されており、問題解決例が1ページ毎に課題、構想、手順などが整理されている。</p> <p>各内容での課題発見から、製作品の設計、製作それぞれの段階で見方・考え方を使い、まとめの活動を通して整理ができるよう工夫されている。</p>

ガ:ガイダンス的内容
4つの内容 A:材料と加工の技術 B:生物育成の技術
C:エネルギー変換の技術 D:情報の技術

発行者名	
6 教図	9 開隆堂
<p>ガイダンス的内容に関する資料のページでは、技術が私たちの生活を支え、持続可能な社会の実現に向けて役立っていることが示されている。</p> <p>見方・考え方については、設計や計画の段階で取り扱い、問題解決の中で活用できるようにまとめられている。</p> <p>職業についての理解は17項目、伝統の技術については3項目示している。</p> <p>3年間の学習の学習内容、4つの内容を同じ手順で進めるよう、整理されている。</p>	<p>ガイダンス的内容に関する資料のページでは、技術の学習プロセスと企業でのものづくりの流れについて連続性が示されている。</p> <p>生活や産業などから技術の見方・考え方に気付かせるよう整理されている。各実習例でも社会とのつながりとして記載されている。</p> <p>職業についての理解は10項目、伝統の技術については2項目示している。</p> <p>3年間の学習内容と具体例を用いて整理されている。巻末には4つの学習内容のふり返りとして、統合的な問題解決の記載がある。</p>
<p>基礎的・基本的な作業は、製作例の中で「基礎技能」として多く示してあり、調査については「調べてみよう」印で示し、4つの内容で扱っている。</p> <p>最初に実習の安全について2ページを使って説明後、「安全」印(24箇所)を付けて生徒への喚起を促している</p>	<p>基礎的・基本的な作業は、材料別・実習別に示してあり、調査については「調べてみよう」や「実験」印で示し、ガイダンスと4つの内容で扱っている。</p> <p>最初に実習の安全について3ページを使って説明後、「安全」印(19箇所)を付けて生徒への喚起を促している</p>
<p>課題を解決するような教材の内容として、35項目が紹介されており、製作の場面での様子が詳しく扱われている。</p> <p>各内容で、目的や条件に合わせた構想、設計を通しての言語活動に取り組めるようになっていく。また、巻末に各内容で使用される計画書が付属している。</p>	<p>課題を解決するような教材の内容として、29項目が紹介されており、それぞれの項目で見方・考え方を通した問題の発見がなされている。</p> <p>各内容で、話し合ってみようという課題を設定し学習の中での言語活動に取り組むように工夫されている。</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野)

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表4	各編末には学習のまとめとして、「学習したことを確かめよう」「考えを深めよう」「生活に生かそう」があり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」の定着を確認できるようにしている。 各編に「実習例」を複数(計33箇所)示し、技術を評価する能力を育てるように配慮している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	生徒の興味・関心に応えられるようにページ下に「技術の工夫」を設け、学習を深められるようにしている。
	(5) 他の教科等との関連 別表6	「小学校」の印でその学年及び教科名、内容(4項目)を、「他教科」の印で他教科名とその学年及び内容(21項目)を記載している。 特別の教科 道徳については、「郷土の伝統と文化の尊重」「情報モラル」の内容で(3項目)記載している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表7	写真、挿絵、資料ともに多く使用している。始めの活動や、まとめの活動の位置を固定するなど、見やすいレイアウトにしている。生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、中学校段階で履修している漢字以外の漢字にはふりがながついていないなど配慮されている。 各編に「★印」で脚注(計47箇所)が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。

発行者名	
6 教図	9 開隆堂
各編末には学習のまとめとして、「各編のまとめ」があり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の定着を確認できるようにしている。 各編に「実習例」を複数(計32箇所)示し、技術を評価する能力を育てるように配慮している。	各編末には学習のまとめとして、「学習をふり返ろう」「学びを深めよう」があり学習の振り返り、定着を確認できるようにしている。 各編に「実習例」を複数(計29箇所)掲示し、技術を評価する能力を育てるように配慮している。
4つの内容に対しCで1つ、Dで1つの発展的な内容を紹介している。また、生徒の興味・関心に応えられるように「もっと知ろう」印を設け、学習を深められるようにしている。	4つの内容に対しCで2つの発展的な内容を紹介している。また、生徒の興味・関心に応えられるようにページ下に「豆知識」をほぼすべてのページ下に設け、学習を深められるようにしている。
各内容の章のはじめに「リンク」の印で小学校、中学校、教科名の関連付けを示している。 特別の教科 道徳については、「情報モラル」の内容で記載している。	「小学校」の印でその学年及び教科名、内容(10項目)を、「他教科」の印で他教科名とその学年及び内容(14項目)の関連付けを示している。 特別の教科 道徳については、「情報モラル」の内容で記載している。
写真、挿絵、資料ともに多く使用している。ユニバーサルデザインの考えに基づいた、ページ番号の文字を大きく太くしたり、適度な余白を設けて、写真やイラストが過密にならないようにしたりして工夫している。 各編に「★印」で脚注(計76箇所)が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。	写真、挿絵、資料ともに多く使用している。配色が見分けやすいユニバーサルカラーの視点から、色覚の個人差を問わず見やすいデザインにしている。特別支援教育の視点から、内容が読み取りやすくなるように、文章や紙面の配置となっている。 各編に「*印」で脚注(計28箇所)が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。

教科・種目名 技術・家庭(技術分野)調査研究事項

別表1

調査項目	2 東書
3年間を見通した学習内容をイメージさせるための、ガイダンス的に関する資料等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ようこそTechnologyの世界へ(目次1~2) ◇教科書の構成(目次3~P1) ◇技術分野の学習方法(P2~P3) ◇作業を安全に楽しく進めよう!(P4~P5) ◇工夫・創造の力が技術を支える(P6~P7) ◇技術は夢を叶えるためにある(P8~P10) ◇未来を創る問題解決(P14~P15) ◇技術分野の学習を見てみよう(P16~P17) (8項目20ページ)
技術の見方・考え方を働かせることに関する資料等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の最適化って何だろう(P11~P13) ◇材料と加工の技術(P18~P19) ◇木材、金属、プラスチックの特性(P22~P23) ◇材料と加工の技術の工夫を読み取ろう(P36~P37) ◇問題解決の評価、改善・修正(P76) ◇材料と加工の技術の最適化(P78~P79) ◇これからの材料と加工の技術(P80~P81) ◇生物育成の技術(P88~P89) ◇生物育成の技術の工夫を読み取ろう(P100~P101) ◇問題解決の評価、改善・修正(P128) ◇生物育成の技術の最適化(P130~P131) ◇これからの生物育成の技術(P132~P133) ◇エネルギー変換の技術(P138~P139) ◇これからの発電方法を考えよう(P144~P145) ◇エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう(P168~P169) ◇問題解決の評価、改善・修正(P188) ◇エネルギー変換の技術の最適化(P190~P191) ◇これからのエネルギー変換の技術(P192~P193) ◇情報の技術(P198~P199) ◇情報の技術の工夫を読み取ろう(P216~P217) ◇双方向性のあるコンテンツとはなんだろう(P220~P221) ◇問題解決の評価、改善・修正(P234~P235) ◇問題解決の評価、改善・修正(P250~P251) ◇情報の技術の最適化(P252~P253) ◇これからの情報の技術(P254~P255) ◇地球環境や将来の世代のための技術(P273) (26項目47ページ)

6 教書	9 開隆堂
<ul style="list-style-type: none"> ◇技術(Technology)を見つけよう(目次1~P1) ◇この教科書の使い方(P2~P3) ◇学習を楽しく安全に進めるために(P4~P5) ◇技術で変わる!私たちの生活(P6~P7) ◇より作業しやすい環境づくりを(P8~P9) (5項目12ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術分野の学習を始める前に(P1~P2) ◇作業の安全(P2~P5) ◇技術分野の学習の流れ(P6~P7) ◇企業のものづくりの流れ(P8~P9) ◇生活や社会における技術の役割(P10~P11) ◇技術の役割(P12~P13) ◇技術の見方・考え方(P14~P15) ◇技術と生活・産業(P16) ◇技術とエネルギー・環境(P17) ◇受け継がれ発展する技術(P18~P19) (10項目19ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ◇問題を解決する工夫を考えよう(P22~P23) ◇設計の仕方を知ろう(P36~P43) ◇2章で学んだことをまとめよう(P70~P71) ◇社会の発展と材料と加工の技術(P72~P75) ◇生物育成の計画を立てよう(P92~P95) ◇計画に沿って作物を栽培しよう(P96~P97) ◇2章で学んだことをまとめよう(P112) ◇社会の発展と生物育成の技術(P114~P117) ◇問題を解決する工夫を考えよう(P142) ◇様々な発電方法(P152~P153) ◇設計のしかたを知ろう(P161) ◇ショベルカーのモデル(P162) ◇災害時に役立つライト(P173) ◇2章で学んだことをまとめよう(P178~P179) ◇社会の発展とエネルギー変換の技術(P180~P183) ◇情報の技術の工夫と利用を考えよう(P204~P205) ◇双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう(P220~P221) ◇双方向性のあるコンテンツの設計のしかたを知ろう(P222~P227) ◇計測・制御システムの設計のしかたを知ろう(P246~P251) ◇社会の発展と情報の技術(P264~P267) (20項目62ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の見方・考え方(P14~P15) ◇身の回りにおける材料と加工の技術(P24~P25) ◇問題解決の流れ(P44~P55) ◇一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック(P56~P57) ◇規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック(P58~P59) ◇安全を重視したふみ台(P60~P61) ◇調理スペースが広がる調味料ラック(P62~P63) ◇見ばえよく植物を収納する鉢入れ(P64~P65) ◇これからの材料と加工の技術(P88~P91) ◇身の回りにおける生物育成の技術(P98~P99) ◇生物育成の技術による問題解決(P114~P115) ◇甘みのあるミニトマトの栽培(P120~P123) ◇リーフレタスの養液栽培(P124~P125) ◇ラディッシュの容器栽培(P126~P127) ◇チューリップの促成栽培(P128~P129) ◇イネの容器栽培(P130~P131) ◇乳牛の飼育(P130~P131) ◇ドジョウの養殖(P132~P133) ◇スギ人工林の育成(P132~P133) ◇これからの生物育成の技術(P134~P137) ◇身の回りにおけるエネルギー変換の技術(P144~P145) ◇発電と送電のしくみ(P150~P151) ◇光や熱に変換するしくみ(P156~P157) ◇動力や音・信号に変換するしくみ(P158~P159) ◇エネルギー変換の技術による問題解決(P178~P179) ◇非常時に光る防災用ライト(P180~P181) ◇介助用ロボット-コンテストを考えた設計(P182~P183) ◇持ち運べるLEDライトスタンド(P184~P185) ◇お手軽クリーナー(P186) ◇音声増幅器(P187) ◇これからのエネルギー変換の技術(P188~P191) ◇生活や社会と情報の技術(P196~P199) ◇双方向性のあるコンテンツによる問題解決(P238~P241) ◇安心して使えるメッセージ交換アプリ(P242~P243) ◇ネット対戦型タイピング練習(P244) ◇防災地図アプリ(P245)

教科・種目名 技術・家庭(技術分野)調査研究事項

調査項目	2 東書
技術の見方・考え方を働かせることに関する資料等の内容	
職業についての理解を深める内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇微細な構造体で色を作る(P67) ◇未来に受け継ぐ熊本城天守閣のために(P79) ◇木の可能性を世界に発信(P81) ◇スポーツする喜び、生きる喜びを伝える義足を作りたい(P82) ◇実際の製品の製作現場での活用例(自動車)(P85) ◇生物育成の技術の目的(P90) ◇成長を管理する技術の例(ミニトマトの促成栽培)(P94) ◇省力化のための自動化技術(P97) ◇乳牛の1日の管理作業の例(P97) ◇温泉トラフグの養殖(P99) ◇養殖の工程(ヒラメの陸上養殖)(P99) ◇食べる人を満足させる甘いミニトマトを届けたい(P101) ◇トンネル栽培によるネギの周年栽培(P101) ◇パンジー育種家(P124) ◇養鶏農家(P126) ◇製品安全のための取り組み(P155) ◇ねじ製造業(P166) ◇感動体験を届けるために(P169) ◇技術を止めてはいけない(P190) ◇「つながる世界」を安全・安心に(P215) ◇市民の困りごとをチャットボットで解決(P221) ◇利便性と安全性が両立しなくてはならない(P237) ◇人とAIの共存する未来(P255) ◇災害の中でも活躍できるロボットの開発(P246) <p>(24項目)</p>
伝統の技術に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇未来に受け継ぐ熊本城天守閣のために(P79) ◇伝統と自然の活用(P81) <p>(2項目)</p>
4つの内容を体系的にとらえた学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ようこそTechnologyの世界へ(目次1~2) ◇技術は夢を叶えるためにある(P8~P10) ◇統合的な問題解決をしよう(P264~P271) <p>(3項目13ページ)</p>
4つの内容ごとの基本的な用語数(索引に収録されている数)	<p>A:140語 B: 84語 C:116語 D: 94語</p>

6 教書	9 開隆堂
	<ul style="list-style-type: none"> ◇計測・制御における問題解決(P248~P251) ◇立入禁止エリアを判断する金属回収ロボット(P252~P253) ◇ミニ植物工場(生物育成の技術との統合)-コマツナの苗の育成-(P256~P259) ◇これからの情報の技術(P260~P263) <p>(40項目104ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◇木材の特性を生かしたイスづくり(P21) ◇一人ひとりが支える日本の技術力(P34) ◇3Dプリンタを利用した設計の変化(P49) ◇コンピュータによる設計と3Dプリンタを活用した魅力あるものづくり(P70) ◇生物を育てる技術の工夫を調べよう(P88~P89) ◇水産技術センターは漁師の応援団です(P91) ◇消費者に新鮮でおいしい野菜を届けたい(P91) ◇乳牛の飼育実習(P106) ◇採卵鶏の飼育実習(P108) ◇ブタの飼育実習(P109) ◇アワビを育てる技術(P110) ◇ヒラメを育てる技術(P110) ◇マダイを育てる技術(P111) ◇セメント資源化システム~都市ゴミをリサイクル~(P154) ◇一つの工具が空の安全を守る(P155) ◇プログラム開発は基礎的な学びから(P219) ◇技術で障がいのある人に勇気を(P263) <p>(17項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会に対するものづくりの使命(P9) ◇安定した食糧の生産(P13) ◇世界最大規模の製鉄所(P27) ◇技術士倫理綱領(P93) ◇乳牛の飼育(P130~P131) ◇ドジョウの養殖(P132~P133) ◇スギ人工林の育成(P132~P133) ◇電力を使わないアシストギヤ(P173) ◇スマート治療室(P194~P195) ◇ゲームアプリの開発現場を見てみよう(P247) <p>(10項目)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◇法隆寺の建築技術(P13) ◇日本の伝統技術-箱根寄木細工-(P35) ◇日本古来の蝶番を使い「木工チャレンジコンテスト」に参加して(P71) <p>(3項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇受け継がれ発展する技術(P18~P19) ◇日本各地の伝統的な技・材料・工芸MAP(P292~P294) <p>(2項目)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◇学習内容への道案内(目次3~P1) <p>(1項目2ページ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術分野の学習を始める前に(P1~P2) ◇ミニ植物工場(生物育成の技術との統合)-コマツナの苗の育成-(P256~P259) ◇技術分野での問題解決をふり返ろう(P266~P267) <p>(3項目7ページ)</p>
<p>A:77語 B:44語 C:61語 D:91語</p>	<p>A: 89語 B: 59語 C: 70語 D:108語</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

別表2

調査項目	2 東書
基本的な操作や調査の項目	<p><基礎的な操作> A:8項目 ◇けがき(P52～53) ◇切断(P54～57) ◇部品の切削(P58～59) ◇穴あけ(P60) ◇折り曲げ(P61) ◇仮組み立て(P62) ◇接合(P63～65) ◇表面処理(P66～67) B:9項目 ◇種まき(P114) ◇間引き(P115) ◇移植・定植(P115) ◇支柱立て・誘因(P115) ◇かん水(P116) ◇健康の管理(P116) ◇元肥・追肥(P117) ◇摘芽・摘芯・受粉(P117) ◇収穫(P117) C:3項目 ◇回路計による測定や試験(P151) ◇はんだづけ(P176) ◇工具の使い方(P176) D:5項目 ◇コンピュータの使い方(P276～277) ◇文字入力の方法(P278～279) ◇文書処理ソフトウェアの操作(P280～281) ◇表計算ソフトウェアの操作(P282～283) ◇プレゼンテーションソフトウェアの操作(P284～285) <調査> ガ:1項目 ◇アイデア発見!製品調べ(P7) A:6項目 ◇教室や技術室を見渡して、どのような材料が使われているか調べましょう(P20) ◇使いやすさを考えて、材料が加工されている製品を調べましょう(P21) ◇学校の机や椅子などの技術の工夫を見つけよう(P21) ◇木材、金属、プラスチックに触ったり観察したりして、気付いたことを挙げましょう(P22) ◇技術室には、どのような工具があるか調べましょう。(P30) ◇生活に生かそう B:1項目 ◇肥料による成長の違いを比較しよう(P95) C:9項目 ◇身の回りにある機器などが、どのような仕組みで動いているか調べてみましょう(P140)</p>

6 教書	9 開隆堂
<p><基礎的な操作> A:11項目 ◇けがき(P28) ◇切断(P28) ◇組立(ねじ接合)(P28) ◇組立(くぎ打ち)(P29) ◇やすりがけ(P29) ◇切断(金属)(P32) ◇やすりがけ(金属)(P32) ◇切削(かんながけ)(P53) ◇切削(ベルトサンダ)(P53) ◇切断(プラスチックカッタ)(P53) ◇下穴あけ(P58) B:2項目 ◇栽培場所(P86) ◇増し土(P100) C:1項目 ◇カムのつくり方(P140) D:5項目 ◇保存のしかた(P207) ◇クライアントのプログラミング(P234～235、240) ◇サーバのプログラミング(P237、240) ◇プログラム改良(P241～243) ◇計測・制御プログラミング転送、実行デバッグ、保存、終了、改善(P254～255、259) <調査> ガ:0項目 A:3項目 ◇トラス構造となっているものを見つけよう(P17) ◇厚紙を様々な形に折って橋をつくり、その上におもりを載せて、丈夫さを比べてみよう(P19) ◇針金を使って金属の性質を確認してみよう(P21) B:3項目 ◇育ててみたい作物やその品種などを調べてみよう(P97) ◇乳牛の飼育では、問題をどんな工夫で解決しているか調べてみよう(P107) ◇採卵鶏やブタの育成では、問題にどんな工夫をして解決しているか調べてみよう(P109) C:2項目 ◇どのようなエネルギー資源があるか調べてみよう(P124) ◇身近なものから、動力を伝えるしくみを探してみよう(P131) D:1項目 ◇情報に関係している言葉をあげ、その意味を調べよう(P188)</p>	<p><基礎的な操作> A:14項目 ◇けがき(P68～69) ◇切断(P70～71) ◇切削(P72～74) ◇穴あけ・溝ほり(P75) ◇検査と修正(P76) ◇組立て(P77～78) ◇仕上げ(P79) (木材による製作) ◇けがき(P80) ◇切断(P81) ◇切削(P82) ◇穴あけ(P83) ◇曲げ(P84) ◇検査と修正(P85) ◇組立てと仕上げ(P86～87) B:8項目 ◇土づくり(P104) ◇種まき(P104) ◇育苗(P104) ◇かん水(P104) ◇施肥(P105) ◇病気・害虫などとその対策(P106) ◇収穫(P106) ◇持続可能な栽培に向けて(P107) C:4項目 ◇回路計(アナログ式)の使い方(P166) ◇回路計(デジタル式)の使い方(P166) ◇電源プラグ組立て(P167) ◇電子部品のはんだづけ(P167) D:6項目 ◇コンピュータ操作の基本(P270～271) ◇ワードプロセッサソフトウェア(P272～273) ◇表計算ソフトウェア(P274～277) ◇プレゼンテーション用ソフトウェア(P278～279) ◇プログラミング言語の種類(P280) ◇プログラミングの基本(P281～287) <調査> ガ:2項目 ◇私たちが使用している文房具の中にもさまざまな工夫がなされてきたものがある。どのように開発されたのか調べてみよう(P12) ◇日本の伝統技術や、日本で生み出された技術について調べてみよう(P19) A:10項目 ◇生活や社会では、どのような材料が使われているのだろうか。また、その材料はどのように加工されているのだろうか(P22) ◇身の回りの製品を観察して、どのような材料を利用しているのか、どのような工夫がされているのかを調べてみよう(P24) ◇製品では、木材・金属・プラスチックなどの材料がどのように使い分けられているだろうか(P26)</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

調査項目	2 東書
<p>基本的な操作や調査の項目</p>	<p>◇スイッチや可変抵抗器を操作してどのような変化が起こるか観察しましょう(P148) ◇電気や電気機器による事故とその原因を調べてみましょう(P152) ◇扇風機がどのような仕組みで動いているか調べてみましょう(P158) ◇リンク機構やカム機構を見つけよう(P162) ◇最新の電気機器に込められた技術の工夫を見つけましょう(P168) ◇製品を分解するなどの活動を通して、技術の工夫を見つけましょう(P168) ◇課題を解決するための電気機器を構想し、必要な情報を調べましょう(P172) ◇生活に生かそう D:4項目 ◇自分の学校のURLを調べてみましょう(P204) ◇ふだん自分が使用しているコンテンツの例を挙げましょう(P222) ◇身の回りの計測・制御システムについて、どのような自動化をしているか調べましょう(P238) ◇生活に生かそう</p>

6 教書	9 開隆堂
	<p>◇木材には、どのような特徴があるだろうか。また、木材を加工するにはどのような技術があるだろうか(P28) ◇机の天板は、木質材料の「合板」でできている。合板の断面はどうなっているか確認してみよう(P31) ◇金属には、どのような特徴があるだろうか。また、金属を加工するにはどのような技術があるだろうか(P34) ◇プラスチックには、どのような特徴があるだろうか。また、プラスチックを加工するにはどのような技術があるだろうか(P36) ◇身の回りの製品は、じょうぶにするためにどのような工夫がされているだろうか(P38) ◇同じ断面積の材料を用意し、それぞれに力を加えて強さを比較してみよう(P38) ◇身の回りにある金属やプラスチックの製品は、どのような方法で組立てや仕上げがされているだろうか(P86) B:3項目 ◇私たちの身の回りでは、生物育成の技術がどのように役立てられているか調べてみよう(P96) ◇スーパーマーケットなどに並んでいる作物は、生産者がどのような工夫をして栽培されているのだろうか(P100) ◇牛乳を出す牛は、どのように育てられているだろうか(P108) C:10項目 ◇防災用品は、日常で使用する製品と比較してどのように工夫されているか調べてみよう(P144) ◇身近な機器を分解して、機器の仕組みを調べよう(P145) ◇私たちの身の回りで、熱を発生させる機器にはどのようなものがあるだろうか(P148) ◇発電所がある場所と、発電方法について、Webページなどから調べてみよう(P150) ◇ペットボトルを使って風力発電機の翼を作り、エネルギー変換効率を調べてみよう(P152) ◇電気エネルギーを光や熱に変換する電気機器にはどのような部品が使われているだろうか(P156) ◇電気エネルギーを動力や音・信号に変換する電気機器には何があるだろうか(P158) ◇身近な電気機器についている銘板を探し、そこにかかっている表示の内容を調べてみよう(P162) ◇リンクをつないで動きを調べよう(P170) ◇身近な機械の部品はどのように取り付けられているだろうか(P174) D:8項目 ◇身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスにはどのような機能があるだろうか(P198) ◇パソコンのカタログに載っている数字を見て、機種による違いを調べてみよう(P202) ◇従来は人間が作業していたことを、コンピュータで置き換えた例を調べてみよう(P206) ◇サンプリング周波数が低いものと高いものとで、ファイルのサイズや音質がどのように違うか比べてみよう(P213) ◇デジタルカメラを用いて、さまざまな解像度の写真を撮り、ファイルサイズを調べてみよう(P215)</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

調査項目	2 東書
基本的な操作や調査の項目	
安全に関する内容	<p>ガ:1項目 ◇情報の学習にあたっての安全(P5)</p> <p>A:12項目 ◇主な加工方法における注意点(P32) ◇不安全状態と不安全行動(P33) ◇けがき針の注意点(P53) ◇のこぎりびきの注意点(P54) ◇帯のこ盤、糸のこ盤の注意点(P56) ◇やすりがけの注意点(P58) ◇ベルトサンダの注意点(P59) ◇卓上ボール盤の注意点(P60) ◇曲げ用ヒータを使用する時の注意点(P61) ◇電動ドリルの注意点(P64) ◇接着剤の使用の注意点(P65) ◇塗装時の注意点(P67)</p> <p>B:2項目 ◇農薬の種類と使用上の注意(P113) ◇魚の育成管理(P127)</p> <p>C:6項目 ◇回路計の使用上の注意(P151) ◇アース線の働き(P153) ◇電気機器の安全な使い方(P153) ◇電気機器の定格(P154) ◇製品の分解(P168) ◇100Vの電源を利用する際の注意(P176)</p> <p>D:2項目 ◇安全に利用するための情報モラル(P206～P211) ◇安全委利用するための情報セキュリティ(P212～P215)</p>
身につけた知識や技術を活用して取り組める、課題解決的な教材の内容	<p>◇問題を発見し、課題を設定しよう(P38～P39) ◇製作品を構想し、設計しよう(P40～P41) ◇製作の計画を立てよう(P46～P47) ◇リモコンラック(P68) ◇トッシュボックス(P69) ◇飾り棚(P70) ◇プリント整理箱(P71) ◇ロッカー整理棚(P72) ◇プリンターカバー(P73) ◇タブレットスタンド(P74) ◇絵本ラック(P75) ◇問題を発見し、課題を設定しよう(P102～P103) ◇生物の育成計画を立てよう(P104～P105) ◇ナス(P118) ◇ジャガイモ(P119) ◇ダイコン(P120) ◇イネ(P121) ◇ラッカセイ(P122) ◇リーフレタス(P123) ◇パンジー(P124) ◇イチゴ(P125)</p>

6 教書	9 開隆堂
	<p>◇身の回りにあるネットワークに接続されている機器は、どのような方法で接続されているだろう(P222) ◇情報技術を悪用した事件・犯罪について、実際にどのようなものが発生したか、具体例を調べてみよう(P228) ◇携帯電話について、どのような知的財産があるのかWebページで調べてみよう(P237)</p>
<p>A:10項目 ◇作業に適した服装、作業中の安全(P24) ◇事故やけがが発生したときの対処(P25) ◇卓上ボール盤での下穴あけ(P28、59) ◇塗装時の注意点(P29) ◇プラスチックの穴あけ(P32) ◇金属折り曲げ(P33) ◇ベルトサンダでの切削(P53) ◇プラスチックの削りくず(P54) ◇かんながけ(かんなの刃)(P59) ◇金属の下穴あけ(P60)</p> <p>B:2項目 ◇実習や見学の安全な進め方(P84～85) ◇培養土の袋の穴あけ(はさみの刃先)(P100)</p> <p>C:9項目 ◇作業の準備から作業後までの安全(P132～133) ◇基盤の折り曲げ(P136) ◇はんだづけ(P136) ◇電気回路の絶縁(P136) ◇カムの形を調整する(P140) ◇保守・点検のしかた(P144) ◇電源コードの点検(P148) ◇漏電とアース線(P149) ◇ニッパの取扱い(P172)</p> <p>D:2項目 ◇情報セキュリティ(P199) ◇IDとパスワードの注意点(P206)</p>	<p>ガ:1項目 ◇作業の安全(P3)</p> <p>A:11項目 ◇直線の切断(P70) ◇かんなを用いた切削(P73) ◇ベルトサンダによる切削(P74) ◇卓上ボール盤での穴あけ(P75) ◇けがき針の取り扱い(P80) ◇金属、プラスチックの切断(P81) ◇やすりがけ(P82) ◇穴あけ、ねじ切り(P83) ◇金属、プラスチックの曲げ(P84) ◇はんだによる接合(P86) ◇金属の塗装(仕上げ)(P87)</p> <p>B:1項目 ◇薬品(農薬)の扱い(P106)</p> <p>C:5項目 ◇身近な機器の分解(P145) ◇乾電池の交換(P155) ◇実験(光を作る)(P157) ◇回路計の注意点(P166) ◇はんだづけの注意点(P167)</p> <p>D:1項目 ◇危険なパスワードの例(P229)</p>
<p>◇不思議な本立て(P26～P29) ◇パンチングメタルスタンド(P30～P33) ◇設計のしかたを知ろう(P36～P43) ◇調味料ホルダー(P50～P55) ◇便利なプリンターラック(P56～P61) ◇パーフェクトスマホスタンド(P62～P67) ◇リモコンスタンドつき本立て(P68) ◇小物ボックス(P68) ◇2列小物スタンド(P69) ◇2段小物ラック(P69) ◇ベビーリーフ(P86～P87) ◇計画に沿って作物を栽培しよう(P96～P97) ◇ミニダイコン(P100～P101) ◇ミニトマト(P102～P103) ◇コマツナの鉢栽培(P104) ◇キュウリのプランター栽培(P104) ◇低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え(P105) ◇家畜や水産生物を育てる技術を体験しよう(P106～P111) ◇カンタンライト(P134～P137)</p>	<p>◇一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック(P56～P57) ◇規格材で製作する机の上を整理・整頓するマルチラック(P58～P59) ◇安全性を重視したふみ台(P60～P61) ◇調理スペースが広がる調味ラック(P62～P63) ◇見ばえよく植物を収納する鉢入れ(P64～P65) ◇機能性を重視したカレンダーつきメモホルダ(P66) ◇分類して収納できる文房具の整理箱(P67) ◇学校内における栽培場所(P107) ◇甘みのあるミニトマトの栽培(P120～P123) ◇リーフレタスの養液栽培(P124～P125) ◇ラディッシュの容器栽培(P126～P127) ◇チューリップの促成栽培(P128～P129) ◇イネの容器栽培(P130～P131) ◇ドジョウの養殖(P132～P133) ◇スギ人工林の育成(P132～P133) ◇災害時に光る防災用ライト(P180～P181) ◇介助用ロボット-コンテストを考えた設計-(P182～P183) ◇持ち運べるLEDライトスタンド(P184～P185)</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

別表3

調査項目	2 東書	6 教書	9 開隆堂
<p>身につけた知識や技術を活用して取り組める、課題解決的な教材の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇問題を発見し、課題を設定しよう(P170～P171) ◇電気回路を設計・製作しよう(P172～P173) ◇携帯型扇風機(P177) ◇冷蔵庫開けっ放し放置機(P178) ◇自動点灯LEDライト(P179) ◇自動車の乗降装置(P184) ◇さくらんぼ収穫ロボット(P185) ◇問題を発見し、課題を設定しよう(P222～P223) ◇コンテンツのプログラムを制作しよう(P226～P227) ◇地域紹介翻訳システム(P228) ◇防災マップ(P229) ◇クラス伝言板システム(P230) ◇学校内チャットシステム(P231) ◇施設確認システム(P232) ◇中学校物知り博士(P233) ◇問題を発見し、課題を設定しよう(P238～P239) ◇計測・制御システムのプログラムを制作しよう(P242～P243) ◇熱中症予防システム(P244) ◇育苗システム(P245) ◇ロボット掃除機のモデル(P246) ◇冷蔵庫開閉チェッカー(P247) ◇福祉車両のモデル(P248) ◇さくらんぼ自動収穫ロボット(P249) ◇忘れ物防止システム(P266～P267) ◇地震時避難誘導システム(P266～P267) ◇自転車サポートシステム(P266～P267) ◇ドローン配送システム(P268～P269) ◇トラック物流システム(P268～P269) ◇自動かん水システム(P268～P269) (50項目) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ぱくぱくカム(P138～P141) ◇ショベルカーのモデル(P162～P165) ◇災害時に役立つライト(P168～P173) ◇コロコロコースター(P176) ◇ライトつきメガネスタンド(P177) ◇追いかっこゲーム(P214～P215) ◇数当てゲーム(P216～P217) ◇PTAバザーの案内マップ(P232～P237) ◇簡単チャット(P238～P243) ◇自動点灯・消灯ライト(P252～P255) ◇自動かん水機(P256～P259) ◇簡単チャットのプログラミング(P260) ◇双方向性の蓄積クイズ(P261) ◇いろいろ問題解決(P260) ◇2足歩行ロボット(P272～P277) ◇バッテリーチャージャ(P278～P283) (35項目) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇お手軽クリーナー(P186) ◇音声増幅器(P187) ◇安心して使えるメッセージ交換アプリ(P242～P243) ◇ネット対戦型タイピング練習(P244) ◇防災地図アプリ(P245) ◇ルート検索アプリ(P246) ◇英単語の発音チェックアプリ(P246) ◇立ち入り禁止エリアを判断する金属回収ロボット(P252～P253) ◇自宅のセキュリティ対策-モニタリングによる防犯-(P254) ◇自分の動きを計測するトレーニング補助装置(P255) ◇ミニ植物工場(生物育成との統合)-コマツナの苗の育成-(P256～P259) (29項目)
<p>思考力・判断力・表現力等の育成につながるような、言語活動に関する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇「安全宣言カード」を作ろう(P5) ◇アイデア発見！製品調べ(P7) ◇学校の机や椅子などの技術の工夫を見つけよう(P21) ◇材料と加工の技術の工夫を読み取ろう(P36～P37) ◇製作品を構想し、設計しよう(P40～P41) ◇読み取ろう！図面は設計者からのメッセージ(P42～P43) ◇自分のアイデアをみんなに伝えよう(P44～P45) ◇製作の計画を立てよう(P46～P47) ◇問題解決の評価、改善・修正(P76～P77) ◇これからの材料と加工の技術について考えよう(P83) ◇考えを深めよう(P87) ◇地域の特産物を調べよう(P91) ◇肥料による成長の違いを比較しよう(P95) ◇生物育成の技術の工夫を読み取ろう(P100～P101) ◇問題解決の評価、改善・修正(P128～P129) ◇もしも生産者だったら？(P133) ◇これからの生物育成の技術について考えよう(P135) ◇考えを深めよう(P137) ◇適切な発電構成割合について考えよう(P143) ◇エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう(P168～P169) ◇機構モデルを設計・製作しよう(P180～P181) ◇問題解決の評価、改善・修正(P188～P189) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇目的や条件をもとに構想を考える(P37～P39) ◇構想を具体化する(P40～P41) ◇設計をまとめる(P42～P43) ◇図や表を読み取ろう(P44～P49) ◇自分が設計をして製作をした作品を、グループで発表しよう(P71) ◇1章や2章で実習したことを思い出して、次の表をまとめよう(P73) ◇A編のまとめ(P76～P77) ◇生物を育てる技術の工夫を調べよう(P88～P89) ◇目的や条件をもとに育成計画を考える(P93) ◇育成計画をまとめる(P94～P95) ◇実習結果を発表しよう(P112) ◇1章や2章で学習したことを思い出して、次の表をまとめてみよう(P115) ◇B編のまとめ(P118～P119) ◇保守・点検のしかたを知ろう(P144～P145) ◇目的や条件をもとに構想を考える(P157) ◇構想を具体化する(P158～P159) ◇設計をまとめる(P160～P161) ◇自分が設計をして製作した作品を、グループで発表しよう(P171) ◇1章や2章で実習したことを思い出して、次の表をまとめよう(P180～P181) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇暖房器具の比較(P15) ◇問題解決の流れ(P44～P45) ◇製図(P40～P43) ◇設計(P48～P55) ◇材料と加工の技術の学習をふり返ろう(P88～P89) ◇材料と加工の技術と私たちの未来(P90～P91) ◇問題解決の流れ(P114～P115) ◇栽培計画の立て方(P116～P117) ◇生物育成の技術の学習をふり返ろう(P134～P135) ◇生物育成の技術と私たちの未来(P136～P137) ◇エネルギーの利用(P146～P147) ◇エネルギー変換効率と省エネルギー(P152～P153) ◇電気エネルギーの特徴(P154～P155) ◇電気機器の保守点検(P164～P167) ◇問題解決の流れ(P178～P179) ◇エネルギー変換の技術の学習をふり返ろう(P188～P189) ◇エネルギー変換の技術と私たちの未来(P190～P191) ◇コンピュータの構成(P200～P201) ◇プログラムの構造と表現(P208～P209) ◇情報のデジタル化(P212～P215) ◇情報モラル(P232～P233) ◇知的財産の保護と活用(P234～P235)

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

調査項目	2 東書
思考力・判断力・表現力等の育成につながるような、言語活動に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇環境に配慮した自動車について考えよう(P193) ◇これからのエネルギー変換の技術について考えよう(P195) ◇考えを深めよう(P197) ◇文字情報の活用方法を考えよう(P203) ◇情報の技術のマイナス面を補うための方法を考えよう(P211) ◇強いパスワードを考えたり暗号化したりしよう(P214) ◇情報の技術の工夫を読み取ろう(P216～P217) ◇コンテンツを構想しよう(P224～P225) ◇問題解決の評価、改善・修正(P234～P235) ◇計測・制御システムを構想しよう(P240～P241) ◇問題解決の評価、改善・修正(P250～P251) ◇これからの情報の技術について考えよう(P257) ◇考えを深めよう(P263) <p>(35項目)</p>
基礎的な問題・練習等の数	<p>学習のまとめ</p> <p>A: 大問 6 小問 9</p> <p>B: 大問 7 小問 9</p> <p>C: 大問 7 小問 9</p> <p>D: 大問 8 小問 10</p> <p>合計 大問28 小問37</p>
生徒が興味関心に応じて取り組める参考実習例の内容と数	<p>A:8項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇リモコンラック(P68) ◇トラッシュボックス(P69) ◇飾り棚(P70) ◇プリント整理箱(P71) ◇ロッカー整理棚(P72) ◇プリンターカバー(P73) ◇タブレットスタンド(P74) ◇絵本ラック(P75) <p>B:8項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ナス(P118) ◇ジャガイモ(P119) ◇ダイコン(P120) ◇イネ(P121) ◇ラッカセイ(P122) ◇リーフレタス(P123) ◇パンジー(P124) ◇イチゴ (P125) <p>C:5項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇携帯型扇風機(P177) ◇冷蔵庫開けっ放し報知器(P178) ◇自動点灯LEDライト(P179) ◇自動車の乗降装置(P184) ◇さくらんぼ収穫ロボット(P185) <p>D:12項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域紹介翻訳システム(P228) ◇防災マップ(P229) ◇クラス伝言板システム(P230) ◇学校内チャットシステム(P231) ◇施設確認システム(P232) ◇中学校物知り博士(P233) ◇熱中症予防システム(P244) ◇育苗システム(P245) ◇ロボット掃除機のモデル(P246) ◇冷蔵庫開閉チェッカー(P247) ◇福祉車両のモデル(P248) ◇さくらんぼ自動収穫ロボット(P249)

6 教書	9 開隆堂
<ul style="list-style-type: none"> ◇C編のまとめ(P184～P185) ◇絵をデジタル化しよう(白黒での例)(P193) ◇情報の技術の工夫と利用を考えよう(P204～P205) ◇目的や条件をもとに構想を考える(P223) ◇構想を具体化する(P224～P225) ◇設計をまとめる(P226～P227) ◇設計を図で表す方法を知ろう(P228～P231) ◇目的や条件をもとに構想を考える(P247) ◇構想を具体化する(P248～P249) ◇設計をまとめる(P250～P251) ◇1章や2章、3章で学習したことを思い出して、次の表をまとめよう(P265) ◇D編のまとめ(P268～P269) <p>(31項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇問題解決の流れ(P238～P239) ◇問題解決の流れ(P248～P251) ◇情報の技術の学習をふり返ろう(P260～P261) ◇情報の技術と私たちの未来(P262～P263) ◇技術分野での問題解決をふり返ろう(P266～P267) ◇技術の工夫・創造と私たちの未来(P268～P269) <p>(28項目)</p>
<p>学習のまとめ</p> <p>A: 大問 7 小問 14</p> <p>B: 大問 6 小問 11</p> <p>C: 大問 6 小問 11</p> <p>D: 大問 7 小問 13</p> <p>合計 大問26 小問49</p>	<p>学習のまとめ</p> <p>A: 10</p> <p>B: 9</p> <p>C: 10</p> <p>D: 11</p> <p>合計 40</p>
<p>A:9項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇不思議な本立て(P26～29) ◇パンチングメタルスタンド(P30～33) ◇調味料ホルダー(P50～55) ◇便利なプリンターラック(P56～61) ◇パーフェクトスマホスタンド(P62～66) ◇リモコンスタンドつき本立て(P68) ◇小物ボックス(P68) ◇2列小物スタンド(P69) ◇2段小物ラック(P69) <p>B:6項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ベビーリーフ(P86～87) ◇ミニダイコンの袋栽培(P100～101) ◇ミニトマトのプランター栽培(P102～103) ◇コマツナの鉢栽培(P104) ◇キュウリのプランター栽培(P104) ◇低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え(P105) <p>C:6項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇カンタンライト(P134～136) ◇ぱくぱくカム(P138～141) ◇ショベルカーのモデル(P162～165) ◇災害時に役立つライト(P168～173) ◇コロコロコースター(P176) ◇ライトつきメガネスタンド(P177) <p>D:9項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇追いかっこゲーム(P214～215) ◇数当てゲーム(P216～217) ◇PTAバザーの案内マップ(P232～237) ◇簡単チャット(P238～243) ◇自動点灯・消灯ライト(P252～255) ◇自動かん水機(P256～259) ◇色々な言語を使った簡単チャット(P260) ◇双方向性の蓄積クイズ(P261) ◇いろいろ問題解決(P261) 	<p>A:7項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック(P56～57) ◇規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック(P58～59) ◇安全性を重視した踏み台(P60～61) ◇調理スペースが広がる調味料ラック(P62～63) ◇見ばえよく植物を収納する鉢入れ(P64～65) ◇機能性を重視したカレンダーつきメモホルダ(P66) ◇分類して収納できる文房具の整理箱(P67) <p>B:8項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇甘みのあるミニトマトの栽培(P120～123) ◇リーフレタスの養液栽培(P124～125) ◇ラディッシュの容器栽培(P126～127) ◇チューリップの促成栽培(P128～129) ◇イネの容器栽培(P130～131) ◇乳牛の飼育(P130～131) ◇ドジョウの養殖(P132～133) ◇スギ人工林の育成(P132～133) <p>C:5項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇非常時に光る防災用ライト(P180～181) ◇介助用ロボット(P182～183) ◇持ち運べるLEDライトスタンド(P184～185) ◇お手軽クリーナー(P186) ◇音声増幅器(P187) <p>D:9項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇安心して使えるメッセージ交換アプリ(P242～243) ◇ネット対戦型タイピング練習(P244) ◇防災地図アプリ(P245) ◇ルート検索アプリ(P246) ◇英単語の発音チェックアプリ(P246) ◇立入禁止エリアを判断する金属回収ロボット(P252～253) ◇自宅のセキュリティ対策(P254)

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

別表4

調査項目	2 東書
生徒が興味関心に応じて取り組める参考実習例の内容と数	
他者と対話や協働できるような学習の内容	<p>◇「安全宣言カード」を作ろう(P5)</p> <p>◇学校の机や椅子などの技術の工夫を見つけよう(P21)</p> <p>◇自分の問題解決の中で、次の視点などで工夫した例を挙げましょう(P78)</p> <p>◇養殖と天然の割合のグラフを見て分かったこと、気づいたことを話し合しましょう(P98)</p> <p>◇写真を見て、どのような技術が使われているか話し合ってみましょう(P100)</p> <p>◇どのようなことに考慮して栽培計画を立てたらよいか考え、話し合ってみましょう(P104)</p> <p>◇グループで育成計画を発表し合い、課題や注意することなどを確認しましょう(P105)</p> <p>◇生物育成の技術による問題解決を基に、生産者と消費者の両方の立場に立って、農薬の使用について話し合ってみましょう(P130)</p> <p>◇生物育成の技術のプラス面、マイナス面を考え、これからの生物育成の技術について話し合ってみましょう(P132)</p> <p>◇もし生産者だったら、どのような栽培方法を選択し、管理・運用をしていくかグループで話し合ってみましょう(P133)</p> <p>◇自分の住んでいる地域での最適な発電方法の組み合わせをグループで話し合ってみましょう(P143)</p> <p>◇課題を解決するために、どのような動きをする機構モデルにしたいか考え、グループで話し合ってみましょう(P180)</p> <p>◇情報の技術のマイナス面を補うための方法をグループで考えよう(P211)</p> <p>◇コンテンツをよりよくするために重視したいテーマを社会の事例などを参考に話し合しましょう(P235)</p> <p>◇自分で構想した計測・制御システムをよりよくするために重視したいテーマを話し合しましょう(P251)</p> <p>◇双方向性のあるコンテンツと計測・制御システムのプログラミングによる問題解決の際に、共通して大切にした視点などを話し合しましょう(P252)</p>

6 教書	9 開隆堂
<p>課題解決:2項目</p> <p>◇2足歩行ロボット(P272~277)</p> <p>◇バッテリーチャージャ(P278~283)</p>	<p>◇自分の動きを計測するトレーニング補助装置(P255)</p> <p>◇ミニ植物工場(コマツナの苗の育成)(P256~259)</p>
<p>◇材料と加工の技術で自分が設計をして製作をした作品をグループで発表しよう(P71)</p> <p>◇エネルギー変換の技術で自分が設計をして製作をした作品をグループで発表しよう(P178)</p>	<p>◇身の回りにある製品は、どのような視点で開発され、どのような問題を解決しているのだろうか(P44)</p> <p>◇材料と加工の技術にかかわる問題を解決する過程で、どのように考えて工夫したか話し合ってみよう(P88)</p> <p>◇材料と加工の技術にかかわる新素材について利点と欠点、実用化するための課題について話し合ってみよう(P90)</p> <p>◇生物育成の技術にかかわる問題を解決する過程で、どのように考えて工夫したか話し合ってみよう(P134)</p> <p>◇安全な「食物」を安定的に生産するために、生物育成の技術はどのように発展すべきか、利用者の立場で話し合ってみよう(P136)</p> <p>◇寒いときに暖かくする方法、遠くへ移動する方法をできるだけ挙げてみよう(P146)</p> <p>◇風力発電機では、風のエネルギーをどのくらい活用できているだろうか(P152)</p> <p>◇家庭用電源と乾電池と比べて、それぞれ優れているところを挙げてみよう(P154)</p> <p>◇ふだん使っている電気機器がスイッチを入れても動かなかった。どのような原因が考えられるか話し合ってみよう(P164)</p> <p>◇エネルギー変換の技術にかかわる問題を解決するなかで、どのように考えて問題を解決する工夫をしたか話し合ってみよう(P188)</p> <p>◇身の回りにある未利用のエネルギーについて考え、その未利用エネルギーがどのように活用できるか考え、話し合おう(P190)</p> <p>◇パソコンとスマートフォンの共通点と異なる点は何だろうか(P200)</p> <p>◇現在、Webを使ってできることについて話し合ってみよう(P226)</p> <p>◇SNSを利用するとき、どのようなことに注意する必要があるのか話し合ってみよう(P232)</p> <p>◇知的財産の視点から適切か話し合ってみよう(P234)</p> <p>◇エアコンを使用していて、何か不便を感じたことはないだろうか。起こりやすい問題について話し合ってみよう(P248)</p> <p>◇情報の技術にかかわる問題を解決する過程で、どのように考えて工夫したか話し合ってみよう(P260)</p> <p>◇技術にかかわる問題を解決するなかでどのようにしたら、よりよく問題を解決できたか話し合ってみよう(P266)</p> <p>◇技術についてこれまでに学習してきたことや、最近の技術や製品に関するニュースなどで、興味をもったことについて話し合ってみよう(P268)</p>

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

別表5

調査項目	2 東書
「発展」などの記載のあるもの内容	無

6 教書	9 開隆堂
◇発光ダイオード(LED)が光る原理(P127) ◇音声のデジタル化の方法(P191)	◇LEDのしくみ、特徴、構造(P156) ◇エネルギー変換の技術による問題解決実習例5 音声増幅器(P187)

別表6

調査項目	2 東書
他教科との関連を示す学習の内容	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇物の調べ方(中理科)(P20) ◇身の回りの物質とその性質(中1理科)(P24) ◇人々の健康や生活環境を支える事業(小4社会)(P25) ◇原子・分子(中2理科)(P26) ◇さまざまな物質とその利用(中3理科)(P28) ◇工作に表す活動(小図工)(P30) ◇立体の投影図(中数学)(P43) <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域の食材を生かした調理(中家庭)(P91) ◇植物の体のつくりと働き(中2理科)(P92、95) <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇エネルギーと物質(中3理科)(P140) ◇電磁誘導と発電(中2理科)(P142) ◇自然環境の保全と科学技術の利用(中3理科)(P142) ◇電気の利用(小6理科)(P142) ◇エネルギー資源の利用(中理科)(P144) ◇化学変化と電池(中3理科)(P146) ◇電流とその利用(中2理科)(P147) ◇電流の働き(小4理科)(P148) ◇電流(中2理科)(P148、154) ◇消費生活・環境(中家庭)(P154) ◇力学的エネルギー(中3理科)(P158) ◇平行四辺形になるための条件(中数学)(P163) ◇交通事故などによる傷害の防止(中保体)(P167) <p>D</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報の整理(中国語)(P211) ◇暗号の仕組み(中数学)(P215) ◇科学技術の発展(中3理科)(P265)
特別の教科 道徳との関連を示す学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇郷土の伝統と文化の尊重(P109、134) ◇「いいね」のために?(P206) ◇情報モラル(P210)

6 教書	9 開隆堂
<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小図工(P12、36) ◇小理科(P12) ◇中保体(P12) ◇中理科(P12、36、72) ◇小算数(P36) ◇中社会(P36、72) ◇中総学(P72) <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小社会(P80) ◇小理科(P80) ◇小生活(P80) ◇中社会(P80、114) ◇中理科(P80、114) ◇中家庭(P91、114) <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小理科(P124) ◇中保体(P124、180) ◇中理科(P124、180) ◇中社会(P180) ◇中家庭(P180) <p>D</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小国語(P188) ◇小社会(P188) ◇小算数(P188) ◇小理科(P188) ◇小総学(P188) ◇中国語(P188) ◇中社会(P188、264) ◇中数学(P188) ◇中音楽(P188) ◇中美術(P188) ◇中理科(P264) 	<p>ガ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇電流とその利用(中理科)(P14) ◇資源・エネルギーと産業(中社会)(P17) <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの物質とその性質(中理科)(P34) ◇直方体の見取り図、展開図(小4算数)(P40) ◇柱体の見取り図、展開図(小5算数)(P40) ◇平面図形、空間図形(中1数学)(P40) <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇水溶液の性質(小理科)(P103) ◇植物の発芽、成長、結実(小5理科)(P104) ◇水産業のさかんな地域(小5社会)(P110) ◇栽培漁業と養殖漁業の違い(中2社会)(P110) ◇森林資源が果たす役割(小5社会)(P112) ◇疑問文(小外国語)(P117) <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇エネルギーと物質(中理科)(P146) ◇資源・エネルギーと産業(中社会)(P146) ◇電気の利用(小6理科)(P150) ◇電流(中理科)(P150、157、161) ◇科学技術と人間(中理科)(P152) ◇電流と磁界(中理科)(P158) ◇電気の通り道(小3)(P160) <p>D</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇プログラミング(小)(P207) ◇A表現(中美術)(P207) ◇引用(中国語)(P235)
◇情報モラル(P200、265)	◇情報モラル(P232)

教科・種目名 技術・家庭(技術分野) 調査研究事項

別表7

調査項目	2 東書
ユニバーサルデザイン化に向けた取り組み	◇始めの活動やまとめの活動の位置を固定するなど、見やすいレイアウトになっている ◇ユニバーサルデザインフォントを使用して、中学校段階で履修している漢字以外の漢字にはふりがながついている
脚注の数	★(マーク)47

6 教書	9 開隆堂
◇ユニバーサルデザインの考えに基づいた写真やイラストの配置、各編の基本カラーを分けている ◇適度な余白を設けて、写真やイラストが過密にならないようにしている	◇色が見分けやすいユニバーサルカラーの視点で配色を工夫している ◇特別支援教育の視点から、内容が読み取りやすくなるように、文章や紙面の配置となっている。
★(マーク)76	* (マーク)28